

第3回城東学園小中一貫校整備検討委員会 概要

日時	令和6年10月30日(水) PM7:00~PM8:45
場所	大東北公民館 集会室
出席者	委員 22名 事務局 教育政策課長、学校再編室長、学校再編係長、学校再編主任 地域計画建築研究所3名
内容	
■：委員会での検討内容	
1	開会
2	委員長あいさつ
3	前回の振り返り
	(1) スケジュール確認 資料1-1 、 資料1-2
	(2) 前回議事録の確認 資料2
4	報告事項
	(1) 地域説明会のアンケート集計について 資料3
	(2) ご意見募集フォームに寄せられた御意見について 資料4
5	協議事項
	(1) 施設整備コンセプト・基本方針について 資料5
	(2) 新しい学校の整備コンセプトについて【ワークショップ形式】 資料6
	<ul style="list-style-type: none"> ・これから城東学園のコンセプトを決めていく。いきなりコンセプトを決めるのは大変なため段階を踏んで決めていく。今回は委員からご意見をいただき、キーワードを抽出する作業を行う。今回出てきたキーワードが今後、複合施設を考える際にも重要になる。区長さん、まち協の事務局長さんは複合化に関する話し合いの内容を今日のワークショップを通じて同じテーブルを囲んでいる委員のみなさんに共有をしてください。 ・進め方について、手元の付箋に1つずつ記入した後にそれぞれが一分程度で発表し、班ごとにキーワードをまとめて発表する。人の意見は否定してはならない。今回はみなさん意見をまとめることが目的でなく、たくさん意見を出すことが目的。グループごとに進行、発表が決まっているのでお願いします。記録、タイムキーパーは事務局側で行います。 ・言葉の定義について、地域は城東、地区は佐東・中・土方、区域はさらに細かなエリアを示す。 ・城東学園のコンセプトを決めるにあたって、段階をふまえて検討していきたい。ワークショップの作業について意見があればお願いしたい。 ・それでは、ワークショップに入りたい。資料5の検討フローをご確認いただきたい。今日はキーワードを抽出する作業を行う。施設規模や諸室の面積、複合施設を検討するキーワードにもなっていく。ぜひ区長さん、まち協の委員さんは、意見を共有していただきたい。 ・青色の付箋には『新しい学校へ継承したいこと』、黄色の付箋には、『新しい学校に望むこと』について記入。
	<3グループに分かれてのワークショップ>
	<発表>各地区のキーワード
	【佐東地区】
	<ul style="list-style-type: none"> ・望むこと 安全安心（防災、通学方法）、負担軽減（親の負担、子どもの負担、先生の負担）、多様性（グローバル、いろんな考え方）、施設、多様性、個人の尊重（遊具、居場所） ・継承したいこと 地域との共生・共助、目指す子ども像、学童保育、思いやり（異学年交流）、個人の尊重（学びタイム、宝カード）

【中地区】

・望むこと

仲良く（異学年の交流、国際性、地域、）、わくわく（国際性、学び）、生きる力（広い敷地、学び）、安心安全（通学、学童、防災拠点）、豊かな学力・人間性（学び・身技体）

・継承したいこと

異学年交流（園小連携）、自然体験・職業体験、地域と共に（地域と学校の連携・協働）、伝統文化（地域の文化・伝統、歴史の学び）

【土方地区】

・望むこと

安全安心（スクールバスの運行、避難所、体育館に空調設備）、施設要望（ランチルーム、複合施設、室内プール）、教育環境（他学年との交流）、地域交流（地区センター放課後の子どもたちの居場所）

・継承したいこと

体験（かかしづくり、田植え、地域の方とのふれあい）、城東・高天神城の名称（高天神の名称を校歌に入れてほしい）、自然体験、放課後の活動（学童保育、下校の見守りボランティア）

(3) 学校の建設候補地について（候補地決定） 資料7

■建設候補地について今回で候補地を決定。事務局よりとりまとめた結果の報告をお願いします。

⇒委員の皆さんからいただいた評価票を集計した結果、一番ポイントが高かったのが東京女子医科大学跡地の58.4となりましたのでご報告いたします。

＜プロジェクターにて結果投影＞

候補地1（城東中学校） 50.4ポイント

候補地2（東京女子医科大学跡地） 58.4ポイント

候補地3（佐東小学校） 42.6ポイント

■皆様からいただいた評価シートを集計した結果、検討委員会としては建設地を東京女子医科大学跡地とさせていただく。このことについて質問、ご意見がある方はこの場でお願いします。前回は話をしたが、この結果を検討委員会として市へ提示する。実際の建設地を決定するのは掛川市。

■3候補地共に敷地が狭い。運動公園やグラウンドまで整備の対象を広げて計画地検討しないと敷地が決められないのではないかと。

■それについては付帯意見として、市へ意見を報告する。

⇒東京女子医科大学跡地で検討するのであれば、どのように敷地を使うのか、どのようにコストの折り合いをつけていくのか検討が必要。仮に市としても東京女子医科大学跡地を建設地とした時に面積不足であれば、周辺の土地活用を検討。どのくらい敷地面積が不足しているかを考えた上で進める。まずは今回の決定を踏まえて、市としての建設地を決めていきたい。

■いずれの敷地も狭いと思う。

■今は3つの建設候補地のうち、委員会としてどこを押すかを定める段階。敷地面積等についてはこれからの話になる。とくに造成は土を出すだけ産廃としてコストがかかる。今後、土木の検討が必要。重要な検討項目になると考える。

⇒いずれの敷地においても面積は足りないと考えており、敷地内で全ての施設が納められるとは考えていない。敷地周辺の土地が拡張できる余地があるかどうか、候補地を検討する際の有力な要因になると考える。何が何でも敷地内に収めようとは思っていない。まずは小中学生が活動できる広さを確保したい。

■仮に女子医科大学跡地に決定したら、小中学校、こども園、テニスコート、吉岡彌生記念館、城東中学校の跡地など、このエリア一帯が先進的な学習ゾーン・学び舎になるようなコンセプトをもって掲げつくりあげていくことで、城東学園が発展していくことになると思う。

■女子医科大学に通っていた時に富士山がきれいに見えたが、敷地を平らにしてしまうと面白くなるのではないかと。子供は高低差が好きなので、高低差を活かした設計になるとワクワクした造りになるのではないかと。周りのグラウンドやテニスコート、吉岡彌生記念館、城東中学校跡地等の敷地をうまく活用していただきたい。

- 今の話を具現化できるようにキーワードとして落とし込んでいただきたい。今後に生かしていきたい。
- こども園の建設地決定の経緯は、現在の敷地と東京女子医科大学跡地の東側茶畑が候補であり、地域性、農振の除外、災害のイエローゾーン、水道や電気工事にコストがかかる、道路に近いほうが良いという意見などの課題があったため、現在の敷地になった。個人的な意見としては、思い出のテニスコートなどはなるべく触らず残して、新しい土地で検討していただきたい。
- 様々な意見が出たが、改めて検討委員会の決定としてとして東京女子医科大学跡地としてよろしいか。よろしければ拍手でお願いしたい。
<委員一同、拍手>
- それでは、委員会の提案としては候補地2の女子医科大学跡地。以上で協議事項が終了。以降の進行を事務局にお返しする。

6 今後の予定について

(1) 委員会だより（第3号）の発行について 資料8

(2) 地区説明会の開催について 資料9

(3) 生徒・教職員・保護者アンケートについて 口頭説明

○次回検討委員会、次回ワークショップについて 資料10

⇒今日出していたいただいたキーワードは事務局でまとめて後日送付。ワークショップの進め方についても後日送付。次回は、機能と構成について具体的に意見を出す。視点が4つあるため、あらかじめ付箋にかいていただきお持ちしていただきたい。

■補足説明として、あらためて目をとおしていただきたい、以前みなさんの話をお伺いし、意見を地域別に整理した資料を改めて次回のワークショップまでに目を通していただきたい。付箋の4色で様々な視点（子供、保護者、教職員、地域）があるが、いろんな立場になって考えていただき、たくさん意見を出していただきたい。書くことがない場合でも地域の声も集めていただきたい。

■平日の夜の時間帯（19:00～20:00頃）では地域説明会で0歳から3歳の子供がいる親の参加が難しいという声がある。一方で実際に参加した方もいるが同年代の方おらず、意見が出しづらい。高齢の方が多いと病院が欲しいなどの意見に偏るため、年齢制限を設けるなど工夫をしていただきたい。学校やこども園で開催していただきたい。

■HPのリンクが切れており、アンケートが見られなかった。

⇒確認する。

■アルパックはどんな役割を担うのか。

⇒専門家としての視点でのデータ収集や資料作成、基本構想・基本計画の策定支援、説明会の出席等を行っている。

7 閉会